EIDAI

S861

室内ドア

片開きドア本体・枠　トイレドア本体・枠　親子ドア本体・枠

施工・取扱説明書

ピボット蝶番タイプ

このたびは、室内ドアをご採用いただきまして誠にありがとうございます。

●施工される方へ［施工説明書　P1～P12］

開梱時において、万一、梱包や製品にキズ等がある場合は、施工前にご購入先まで連絡をお願いいたします。
施工後のお申し出に対しては、当社としては責任を負いかねますので、ご了承願います。
また本説明書に基づき正しく施工後、本説明書を必ずお施主様へお渡しください。

●お施主様へ［取扱説明書　P12］

ご使用前に必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。また、お読みになられたあと、大切に保管してください。

安全上のご注意

●表示内容を無視して誤った工事・使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分して説明します。

⚠ 注意	この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

●お守りいただく内容の種類を次の図記号で区分して説明します。

禁止	この図記号は、製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止するものです。	強制	この図記号は、製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制するものです。

もくじ

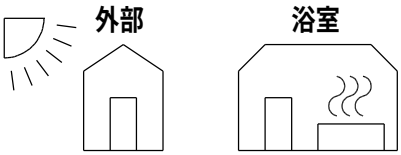
施工上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
1．部材・部品表・・・・・・・・・・・・・・・・・3
2．姿図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
3．納まり図・・・・・・・・・・・・・・・・・・4～5
4．施工手順
　4－1．開口寸法の調整・・・・・・・・・・・6
　4－2．施工の前準備・・・・・・・・・・・・6
　4－3．ピボット蝶番の取り付け・・・・・・・7
　4－4．枠の組み立て　・・・・・・・・・・・7
　4－5．枠の取り付け　・・・・・・・・・・・8
　4－6．戸当たりの取り付け　・・・・・・・・9
　4－7．振れ止め金具の取り付け　・・・・・・9
　4－8．額縁の取り付け　・・・・・・・・・・9
　4－9．ドア本体の吊り込み　・・・・10～11
　4－10．フランス落し受けプレートの取り付け
　　（親子ドアの場合のみ）・・・・・・11
5．施工終了後の調整方法・・・・・・・・11～12
6．養生・お手入れ方法
　6－1．養生・・・・・・・・・・・・・・・・12
　6－2．お手入れ方法・・・・・・・・・・・・12
7．ご使用上のご注意・・・・・・・・・・・・・12

施工上のご注意

以下の注意事項は、施工される方や住まわれる方への危害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

⚠ 注意	●本説明書は当社カタログ標準品に準じた寸法などの表示をしております。特注・特寸対応した製品については、現品のサイズ・加工などを確認のうえ施工を行ってください。 ●本製品はホルムアルデヒドなどの空気環境を考慮したものですが、施工の際にご使用になる現場調達品（飼木・接着剤など）によっては空気環境対策外の製品となる場合がありますのでご注意ください。

本製品は、一般住宅用（室内専用）です。
業務用や屋外または屋外に面する場所や浴室などに使用しないでください。



反りや変形の原因になりますので、製品到着後はすみやかに施工してください。また、開梱時には必ずキズの有無・部品のチェックを行い、開梱後は長く放置しないでください。キズが付く恐れがあります。

本説明書と異なる施工は行わないでください。間違った施工は思わぬ事故や故障の原因となります。また、本説明書と異なる施工で発生した製品の不具合についての返品・取替えはご容赦ください。

ドア枠を施工する際は水平・垂直を確認し、下図のような状態にならないように取り付けてください。
ドアが閉まりにくくなったり、すき間ができる原因となります。

傾き　ずれ　たいこ　つづみ　ねじれ

ドア枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間をつくり、乾燥した飼木を入れてください。

本製品の組み立て・施工時には同梱の指定ビスを使用してください。他のビスを使用すると、部品・部材の脱落や枠の垂れ下がり・ゆるみなどの原因となります。
（本説明書内で「現場調達」と記載している場合は除きます）

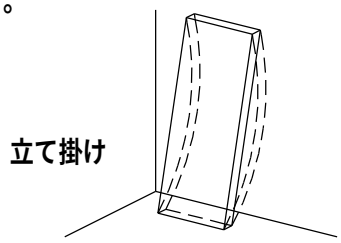
コンクリートやモルタルに直接施工しないでください。やむを得ず施工する場合には、必ず防水処理をしてください。

養生シートを使用する際は、粘着テープ等を化粧面に貼らないでください。テープをはがす際に化粧シートがはがれる恐れがあります。

建築工事中はドア本体を養生・保全し、施工完了後に吊り込むことをおすすめします。

製品施工後は水などで、ドア本体・ドア枠を濡らさないようにしてください。

施工が完了するまでは、ドア本体や枠セットを水平に保管してください。立て掛けた状態での保管は反り発生の原因となります。



養生・お手入れ方法・使用上のご注意は１２ページをご覧ください。

1．部材・部品表

■ドア本体

部材名	形状	入数	部材名	形状	入数
ドア本体		1	ストライク（親子ドアのみ）	（親子ドア本体〔子ドア〕に取り付け済み）	1
			フランス落し（親子ドアのみ）	（親子ドア本体〔子ドア〕に取り付け済み）	2
スモールライト（トイレドアのみ）	（トイレドア本体に取り付け済み）	1	フランス落し受けプレート（固定ビス付き）（親子ドアのみ）		2

■レバーハンドルセット（別売品）

※レバーハンドル、座の形状は、品番によって異なります。

レバーハンドル		1	ケース錠		1
座（表示錠、間仕切錠、シリンダー錠の場合は、それぞれのパーツが一緒にセットされます。）		1	説明書	（レバーハンドルセットに同梱）	1

■枠セット

※1．図は固定枠です。額縁調整枠は形状が異なります。　※2．［　］はハイドア・グランドハイトの場合です。

部材名		形状	入数 片開きドア トイレドア	入数 親子ドア
縦　枠		※1	2	2
上　枠		※1（埋め込みナット取り付け済み）	1	1
縦戸当たり	ストライク側	（パッキンあり）	1	—
	蝶番側	（パッキンなし）	1	2
上戸当たり		（パッキンなし）	1	1
ストライク		（縦枠に取り付け済み）	1	—
振れ止め金具（取り付けビス付き）（ハイドア・グランドハイトのみ）		※2	[1]	[2]

部材名		形状	入数 片開きドア トイレドア	入数 親子ドア
施工定規			1	1
ピボット蝶番（ガイドビス［首太ビス］付き）（施工ビス［皿ビス］付き）（カバー［大］・［小］付き）図は右吊り元（R）用を示します		枠側蝶番（上用）　ドア側蝶番（上用）	1	2（L／R各1）
		枠側蝶番（下用）　ドア側蝶番（下用）	1	2（L／R各1）
接着剤セット	接着剤（戸当たり取り付け用）		1	1
	ＩＰビス	50mm ※2	13 [15]	13 [15]
	枠組み立て用ビス	32mm	4	4
施工・取扱説明書		（本説明書）	1	1

■額縁セット　※3

※3．固定枠に額縁セットは必要ありません。

縦枠用		4	上枠用		2

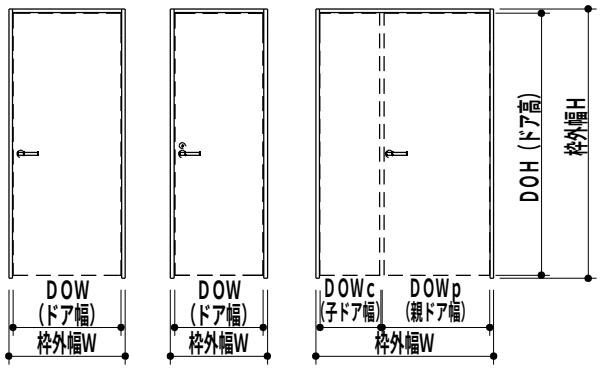
■シート沓摺・シート床見切り（別売品）

シート沓摺	幅100mm　薄壁対応用3 幅78mm	1	シート床見切り	39mm	1
			床付平型見切り	40mm	1

2．姿図

■片開きドア本体・枠　トイレドア本体・枠　親子ドア本体・枠

（単位：mm）



（ドア本体）

幅記号 高さ記号

VD－●DP△◆◆◆☆※

片開きドア：D
トイレドア：T
親子（親）：P
親子（子）：C

蝶番記号
錠記号
デザイン記号
色記号

（枠セット）

幅記号 高さ記号

VF－●DP◆◆◆□※（L／R）－S

片開きドア：D
トイレドア：T
親　子ドア：P

蝶番記号
壁厚記号
色記号
蝶番色記号

1：縦枠見込み110mm（額縁調整枠）
3：縦枠見込み95mm
4：縦枠見込み110mm
5：縦枠見込み140mm
6：縦枠見込み154mm
7：縦枠見込み168mm

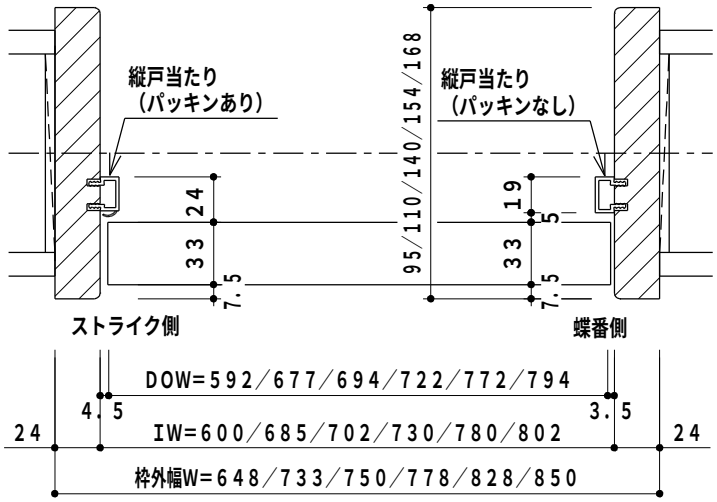
幅記号	枠外幅W	DOW	幅記号	枠外幅W	DOW
05	648	592	15	750	694
10	733	677	20	778	722
			25	828	772
	（親子ドア枠）1188	Wp：722 Wc：408	30	850	794

高さ記号	枠外高H	DOH
7	2028	1990
8	2288	2250
9	2400	2362

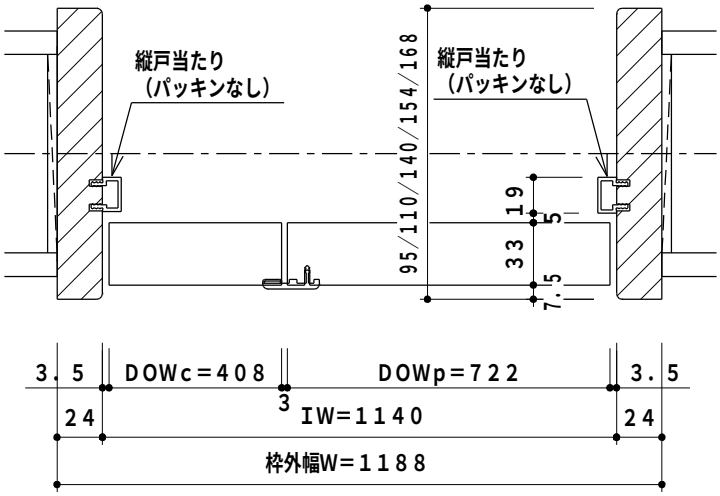
3．納まり図

■固定枠　片開きドア・トイレドア枠（水平断面図）

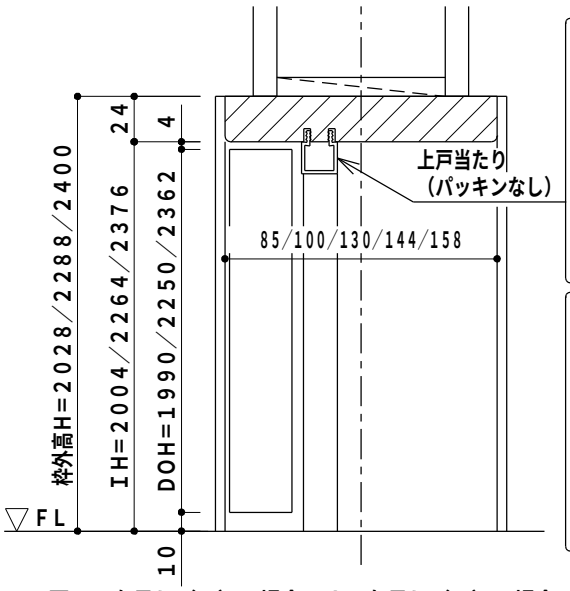
（単位：mm）



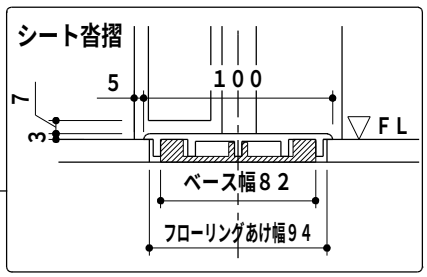
■固定枠　親子ドア枠（水平断面図）

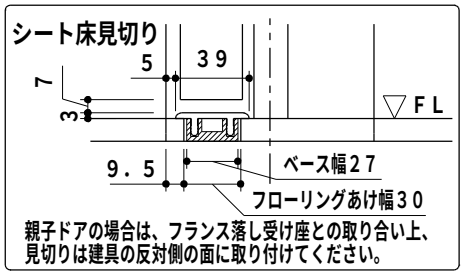


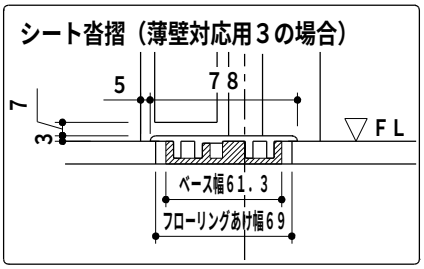
■固定枠　各ドア枠共通（垂直断面図）

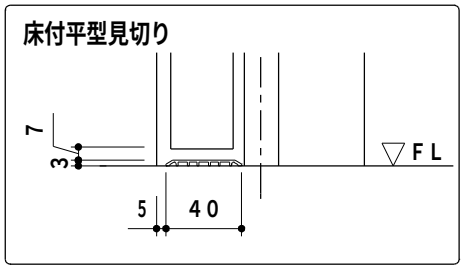


・シート沓摺、シート床見切り、床付平型見切りを付ける場合、扉とのクリアランスは7mmになります。









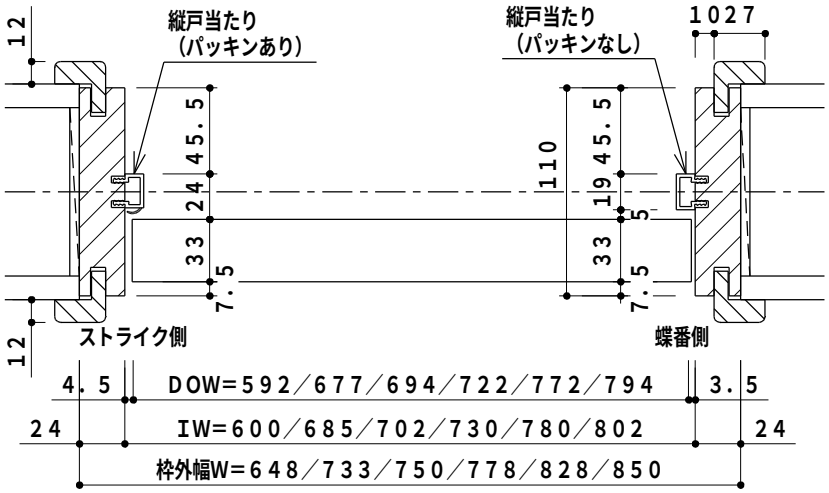
・図面は右吊り（R）の場合です。左吊り（L）の場合は左右対称となります。

・ＦＬとは、床仕上げ面を示します。

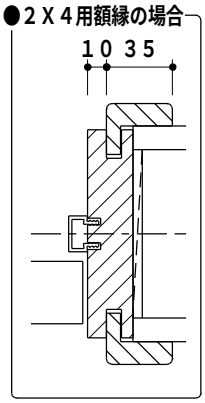
・フロア面との納まり例は参考図です。現場の納まり状態に合わせて施工してください。

■額縁調整枠　片開きドア・トイレドア枠（水平断面図）

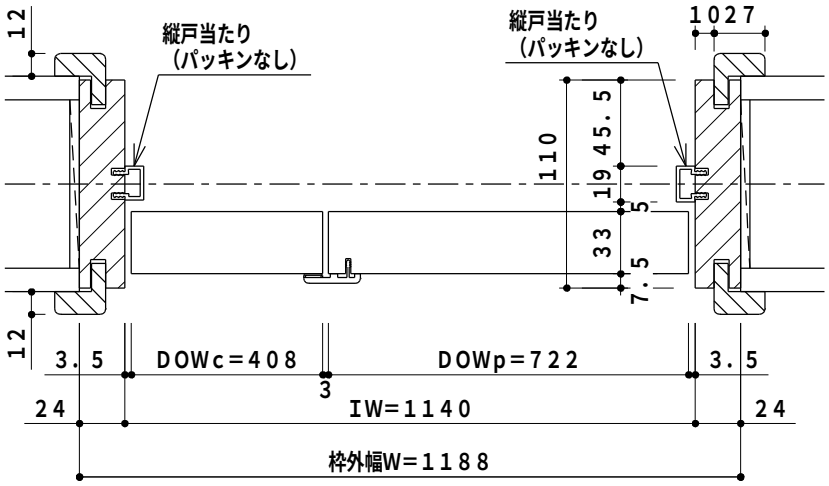
（単位：mm）



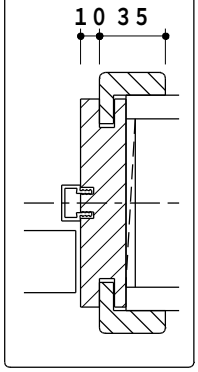
●2X4用額縁の場合



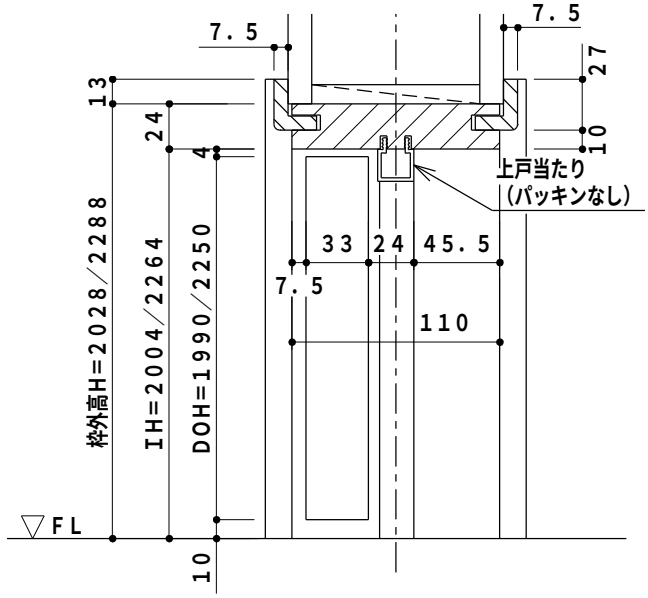
■額縁調整枠　親子ドア枠（水平断面図）



●2X4用額縁の場合

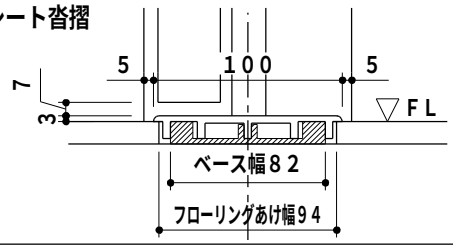


■額縁調整枠　各ドア枠共通（垂直断面図）

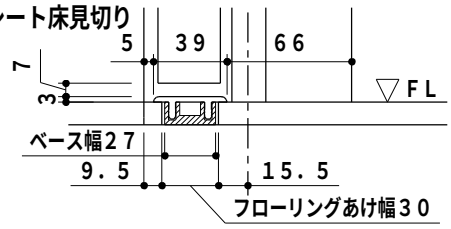


・シート沓摺、シート床見切り、床付平型見切りを付ける場合、扉とのクリアランスは7mmになります。

シート沓摺

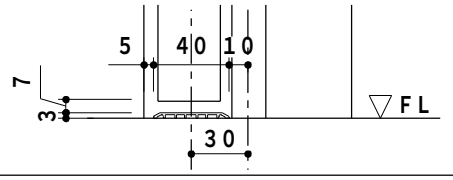


シート床見切り



親子ドアの場合は、フランス落し受け座との取り合い上、見切りは建具の反対側の面に取り付けてください。

床付平型見切り



・図面は右吊り（R）の場合です。左吊り（L）の場合は左右対称となります。
・フロア面との納まり例は参考図です。現場の納まり状態に合わせて施工してください。
・FLとは、床仕上げ面を示します。

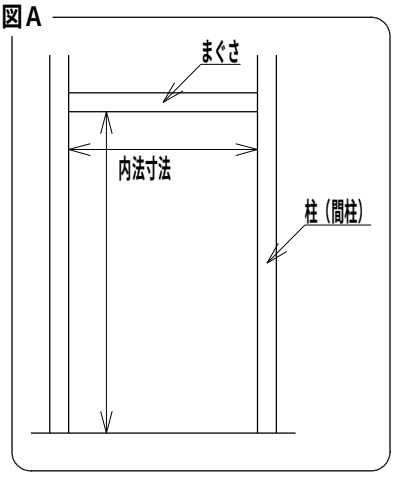
４．　施工手順

４－１．開口寸法の調整

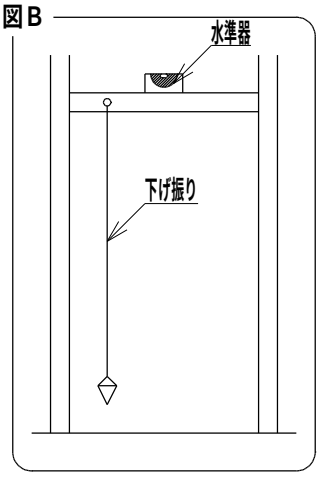
①使用する製品の寸法を確認し、柱・間柱・まぐさの内法寸法を合わせてください。（図Ａ）
内法寸法は製品の枠外寸法と１０mm（片側５mm）の余裕寸法を見込んで決めてください。

②下げ振りや水準器で、柱の垂直、まぐさの水平および、開口のねじれ、傾きを確認・修正してください。（図Ｂ）

図Ａ



図Ｂ

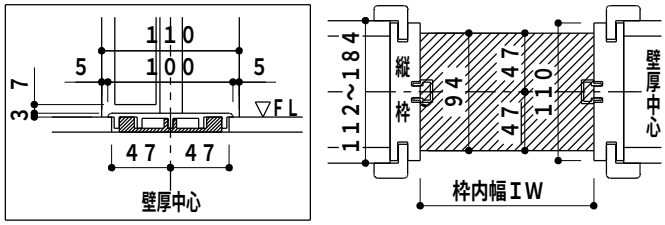


４－２．施工の前準備

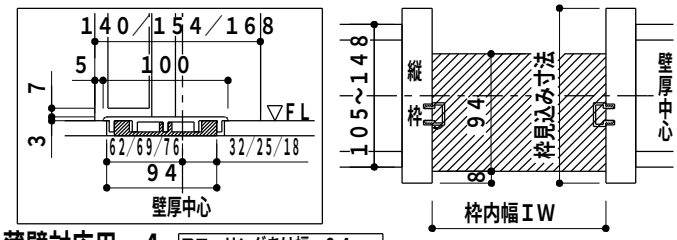
シート沓摺、シート床見切りをご使用になる際に、下図の斜線部をあけてフローリングを施工してください。
斜線部には、沓摺ベース部材と本体が入ります。
（下図納まり図は、標準納まりの場合です。）

Ａ．シート沓摺の場合

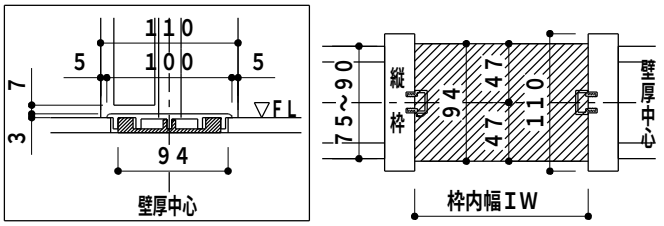
額縁調整枠－１　フローリングあけ幅＝９４mm



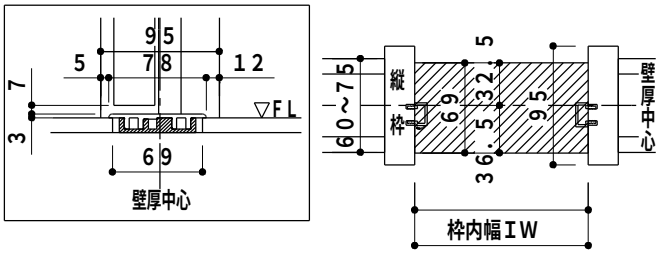
固定枠－７～５　フローリングあけ幅＝９４mm



薄壁対応用－４　フローリングあけ幅＝９４mm

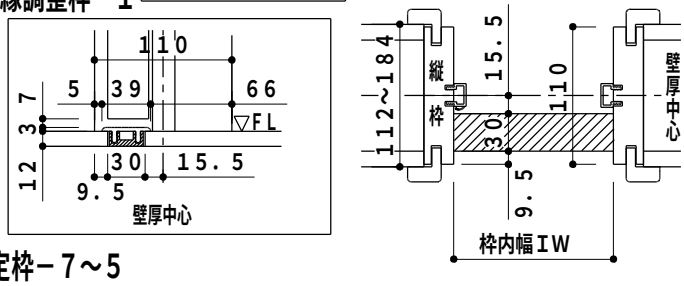


薄壁対応用－３　フローリングあけ幅＝６９mm

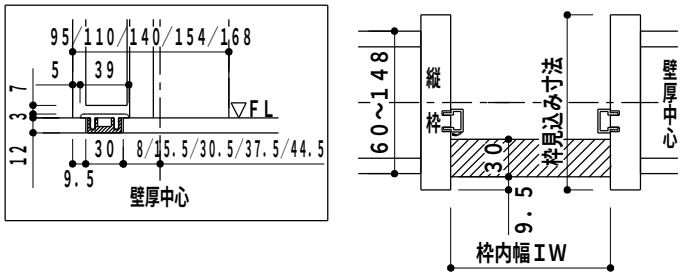


Ｂ．シート床見切りの場合

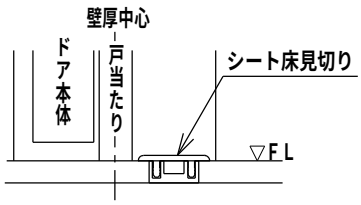
額縁調整枠－１　フローリングあけ幅＝３０mm



固定枠－７～５
薄壁対応用－４　フローリングあけ幅＝３０mm
薄壁対応用－３

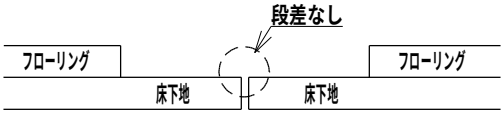


親子ドアの場合は、フランス落し受け座との取合上、ドア本体と反対側に取り付けてください。



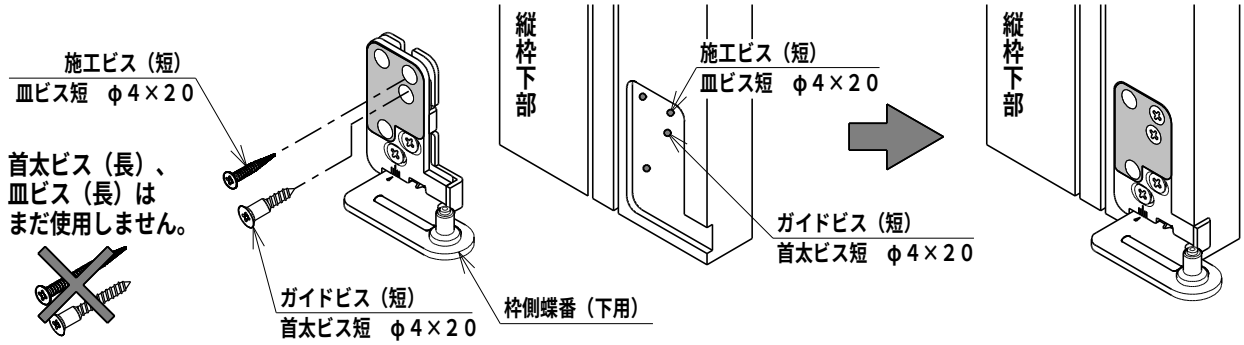
・ＦＬとは、床仕上げ面を示します。
・９mmあるいは１５mmの床材を使用する場合は、シート沓摺、シート床見切り梱包内の説明書をご覧ください。

シート沓摺・床見切りが施工される床下地に、段差のないことを確認してください。段差のある場合は、解消してください。段差があると、フローリングとのすき間、音なり、波打ちの原因となります。

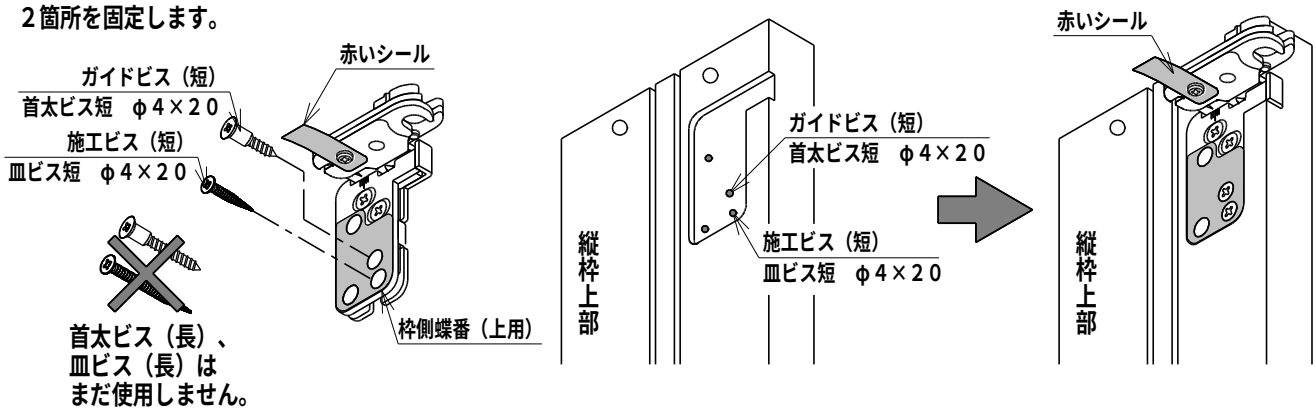


4－3．ピボット蝶番の取り付け

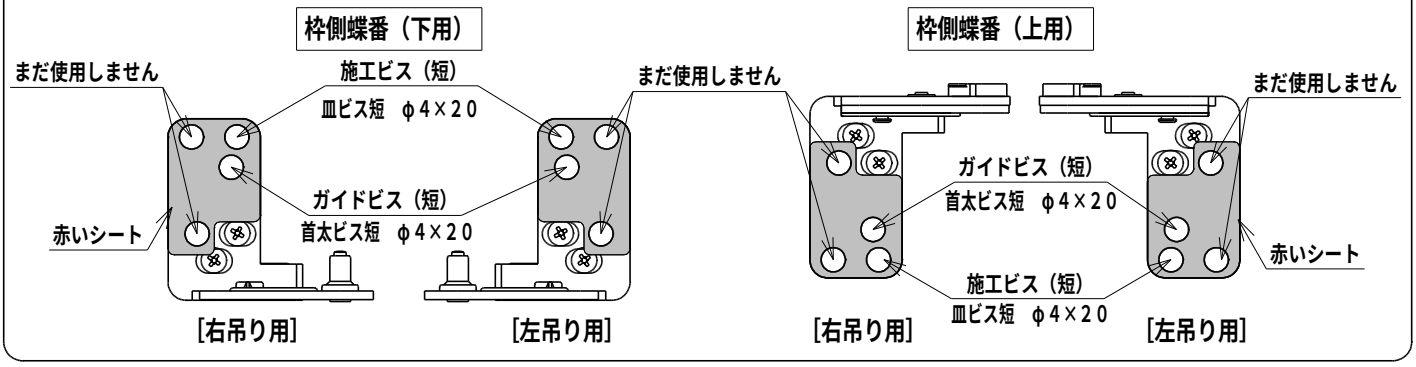
①枠側蝶番（下用）を縦枠に取り付けます。
縦枠下部の加工部に枠側蝶番（下用）をはめ込み、同梱のガイドビス（首太ビス短：φ4×20）と施工ビス（皿ビス短：φ4×20）で2箇所を固定します。



②枠側蝶番（上用）を縦枠に取り付けます。
縦枠上部の加工部に枠側蝶番（上用）をはめ込み、同梱のガイドビス（首太ビス短：φ4×20）と施工ビス（皿ビス短：φ4×20）で2箇所を固定します。



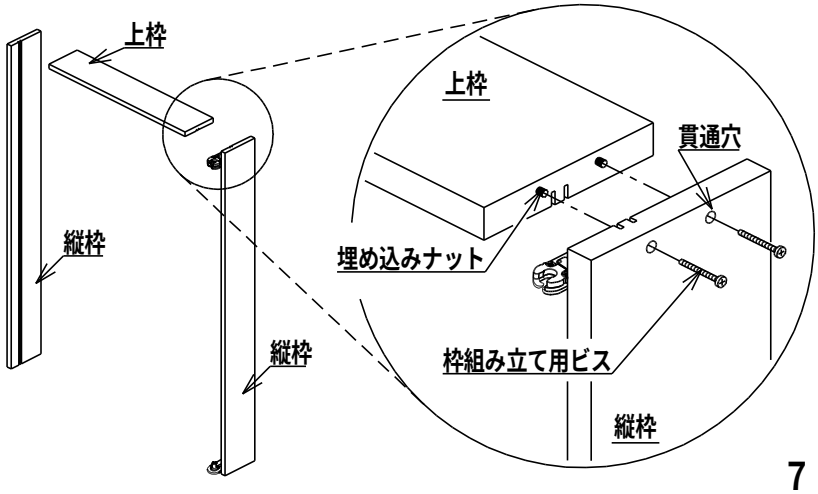
- 必ず、同梱のガイドビス（首太ビス短：φ4×20）と施工ビス（皿ビス短：φ4×20）を使用してください。
  使用するビスを誤ると躯体にしっかりと固定されずに蝶番が外れ、ドア本体が倒れる恐れがあり、大変危険です。
- ピボット蝶番の取り付け時は、縦枠の上下とピボット蝶番の上下左右を確認して行ってください。



4－4．枠の組み立て

縦枠と上枠を組み立てます。
上枠には埋め込みナットが取り付け済みです。
縦枠上部の貫通穴とジョイント（仮固定）して、
同梱の枠組み立て用ビスで固定してください。

- 枠の組み立ては水平な場所で行ってください。
- 枠の組み立てには同梱の枠組み立て用ビスを使用してください。
  他のビスを使用すると、部品・部材の脱落や枠の垂れ下がり・ゆるみなどの原因となります。



4－5．枠の取り付け

①飼木（パッキン材）と酢ビ系接着剤を用いて、調整した開口部に組み立てたドア枠を仮固定してください。
※飼木、接着剤ともに現場調達品です。
※開口部の調整は6ページをご参照ください。

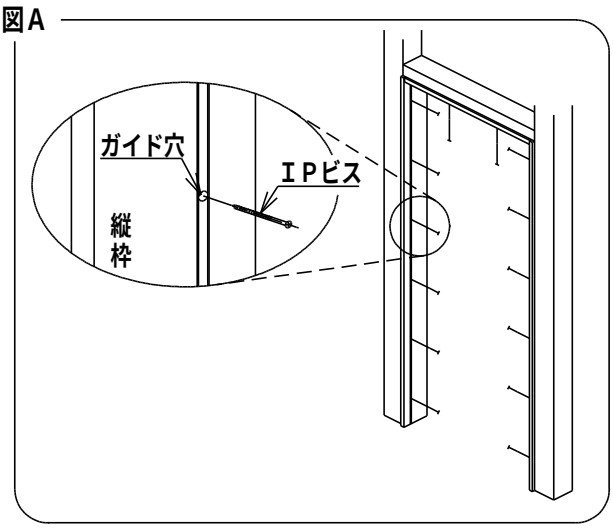
②同梱の施工定規を使用してドア枠内寸法を確保しながら、水準器・下げ振りを使用してドア枠の水平・垂直・ねじれ・フクレを確認・調整してください。

③上枠および縦枠のガイド穴より、同梱のＩＰビスでドア枠を躯体にしっかり固定してください。（図Ａ）

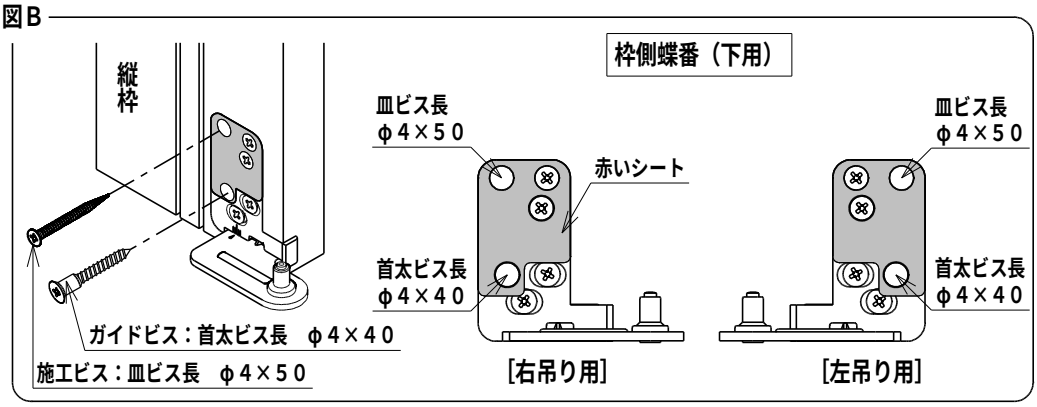
④縦枠に取り付けた枠側蝶番（上用・下用それぞれ）を、同梱のガイドビス（首太ビス長：φ４×４０）と施工ビス（皿ビス長：φ４×５０）でしっかりと固定してください。（図Ｂ、図Ｃ）
ビス固定後に赤いシートを剥がしてください。

⑤シート沓摺・シート床見切りを使用する場合は、ベース材をゴム系またはエチレン酢ビ系の接着剤を使用して、しっかり固定してください。（図Ｄ）
詳細はシート沓摺・床見切りに同梱の取り付け説明書をご確認ください。
※接着剤は現場調達品です。

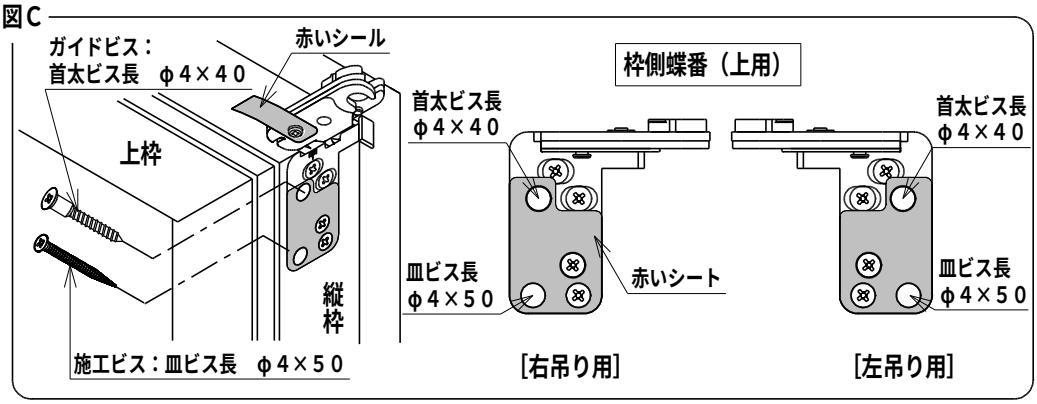
図Ａ



図Ｂ



図Ｃ



図Ｄ

【グランドハイト枠セットを天井先貼り時に施工する場合】

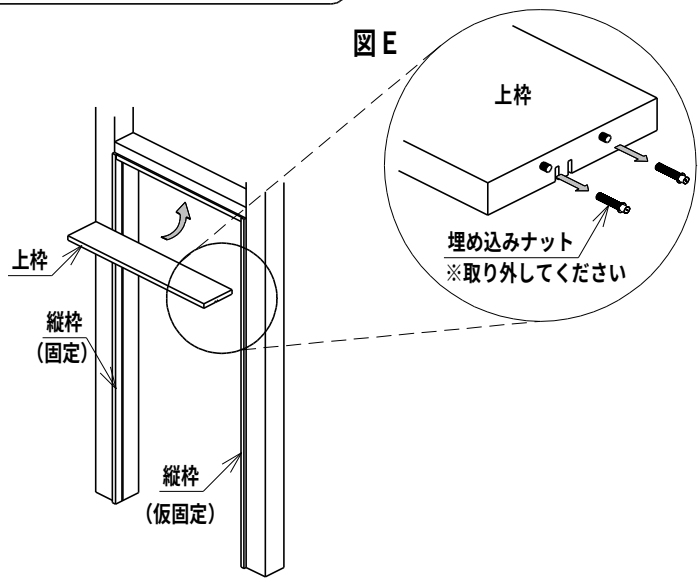
１．片側の縦枠を同梱のＩＰビスで躯体に固定し、反対側の縦枠を仮固定してください。

２．仮固定した縦枠側の上枠の埋め込みナットを外してください。（図Ｅ）

３．固定した側の縦枠に上枠の埋め込みナットを合わせて位置決めし、上枠を同梱のＩＰビスで固定してください。

４．仮固定した縦枠と躯体の間に飼木（現場調達）を入れて開口を調整し、同梱のＩＰビスで縦枠を固定してください。

図Ｅ



４－６．戸当たりの取り付け

①上戸当たりを枠内幅寸法（ＩＷ）にカットしてください。

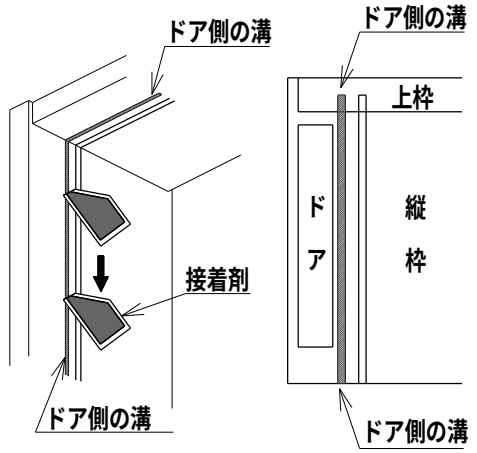
②縦戸当たりを枠内高寸法（ＩＨ）から１５mm（上戸当たりの厚さ分）引いた長さにカットしてください。

③同梱の接着剤を、ドア側の戸当たり溝にのみ線状に塗布してください。（図Ｆ）

④カットした上戸当たりと縦戸当たりを、［1］上戸当たり、［2］縦戸当たりの順に手で押さえて取り付けてください。（図Ｇ）
※金槌を使用する場合は、必ず当て木をしてください。

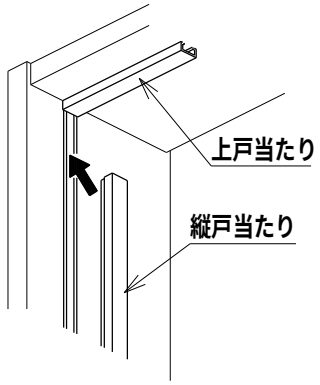
図Ｆ

接着剤は、ドア側の戸当たり溝のみに
線状に塗布してください。



図Ｇ

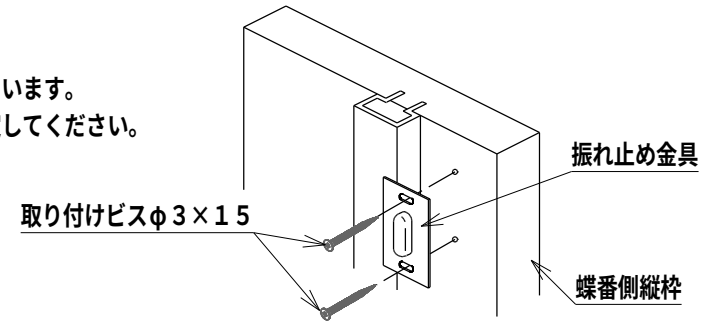
戸当たりは、［1］上戸当たり、［2］縦戸当たりの順に取り付けてください。



お願い　戸当たりは横勝ちで納めてください。

４－７．振れ止め金具の取り付け

蝶番側縦枠には振れ止め金具の取り付け用下穴が加工されています。
振れ止め金具の長穴中心を下穴に合わせて同梱のビスで固定してください。



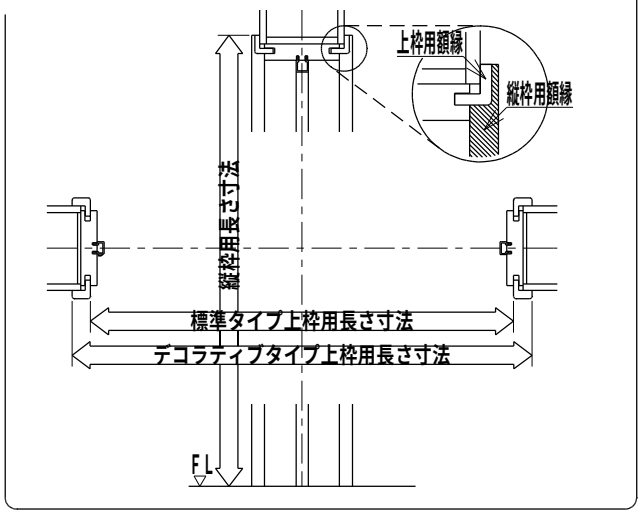
４－８．額縁の取り付け

・額縁調整枠の場合は、額縁の取り付けが必要です。

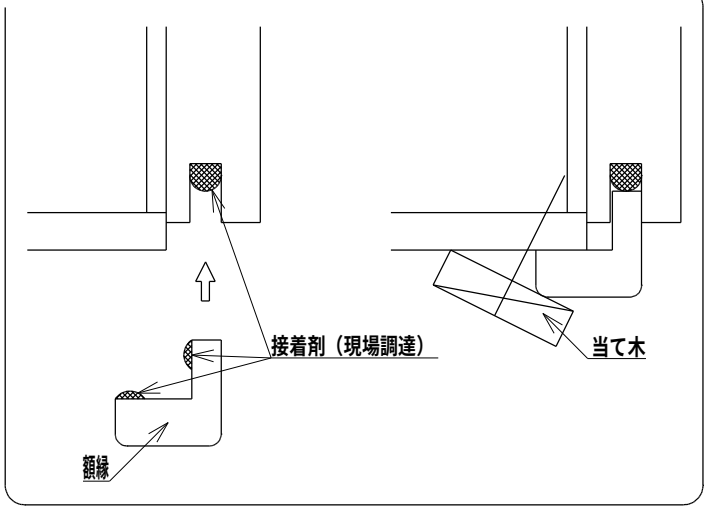
①額縁は、縦勝ちで納めてください。
※縦枠用額縁は上枠用額縁の寸法を測定のうえカットしてください。（図Ｈ）

②額縁取り付け時には、接着剤（現場調達／酢ビ系）を必ず使用し、完全に硬化するまで当て木をしてください。（図Ｉ）

図Ｈ



図Ｉ

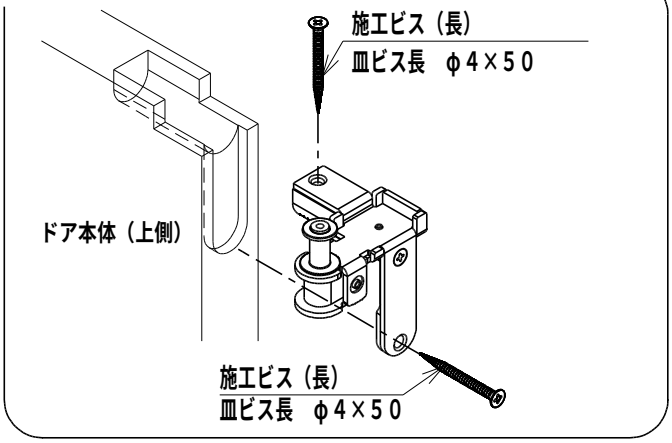


4－9．ドア本体の吊り込み

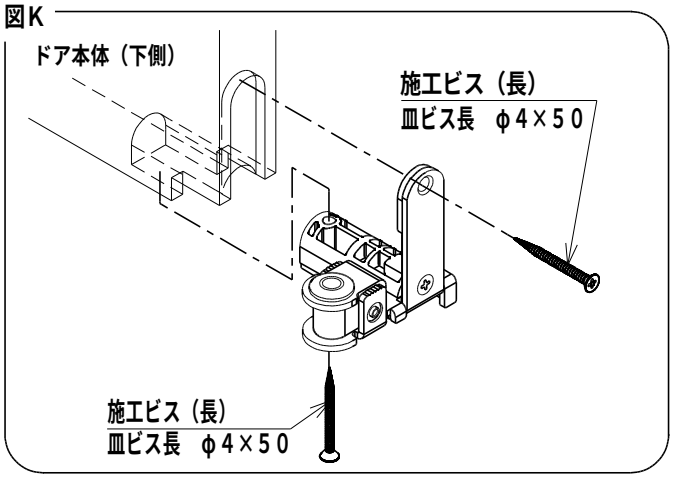
①ドア側蝶番の取り付け

ドア側蝶番の上用・下用それぞれを、ドア本体の加工部へはめ込み、同梱の施工ビス（皿ビス長　φ4×50）で固定してください。
（図J、図K）

図J



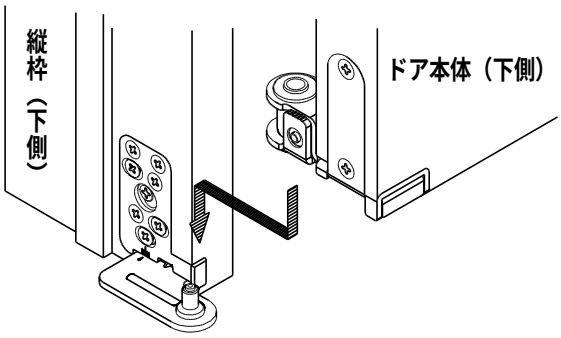
図K



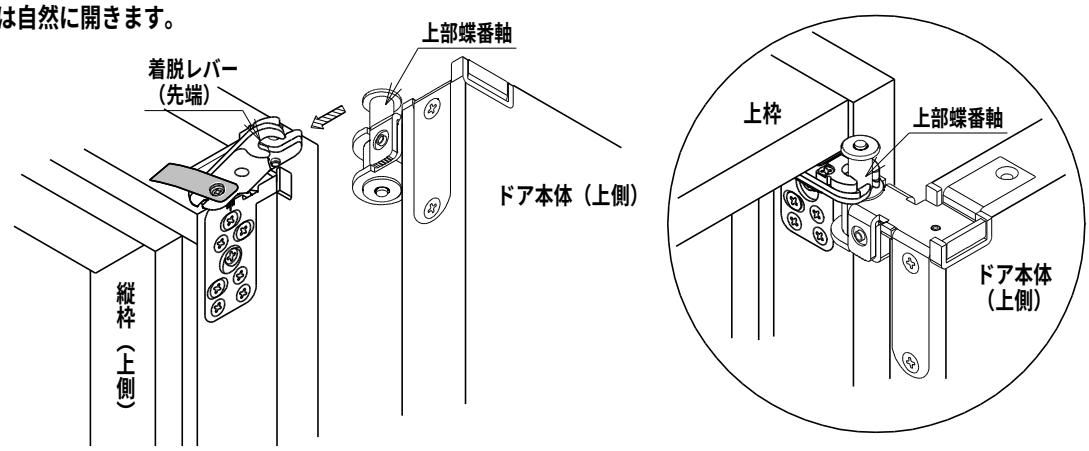
お願い　蝶番の取り付けは、ドア本体の上下と蝶番の上下左右を確認のうえ行ってください。

②枠側蝶番への吊り込み

（1）枠側蝶番（下用）の軸に、ドア側蝶番（下用）を差し込みます。

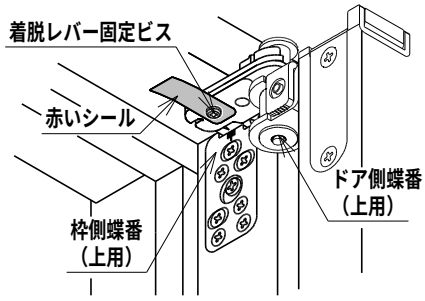


（2）ドア側蝶番（上用）の上部蝶番軸を枠側蝶番（上用）の
着脱レバー（先端）に押し込んではめてください。
※着脱レバーは自然に開きます。



お願い　上部蝶番軸をはめ込み、ドア本体が吊り込まれるまでにドア本体が倒れないようご注意ください。

（3）枠側蝶番（上用）の着脱レバー固定ビスを締めて固定してください。
ビス固定後に赤いシールを剥がしてください。



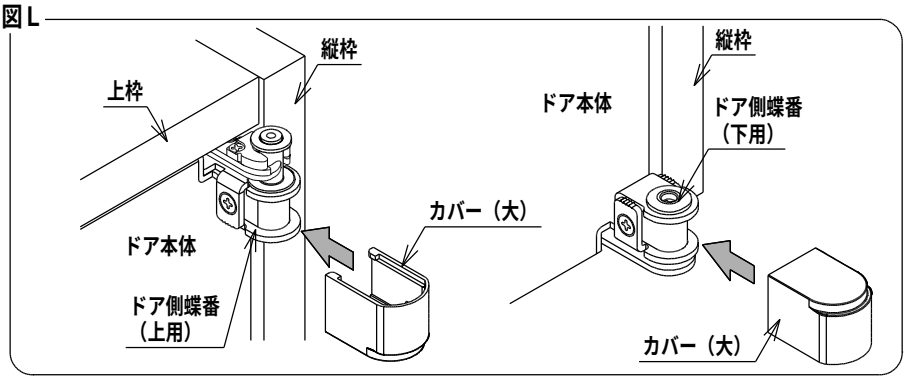
着脱レバー固定ビスは必ず締めてください。
締め忘れるとドア本体が脱落する恐れがあり、大変危険です。

③蝶番の調整

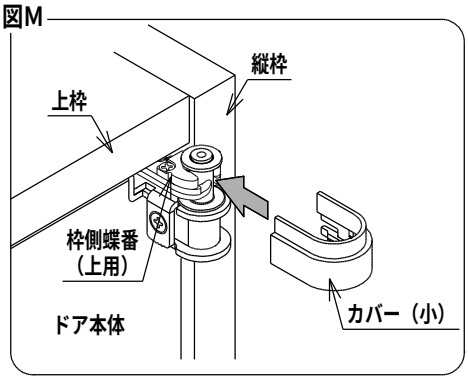
（1）「5．施工終了後の調整方法」を参照して調整を行ってください。

（2）ドア側蝶番（上用・下用）にカバー（大）を、枠側蝶番（上用）にカバー（小）をそれぞれ取り付けてください。
※カバーを取り付ける際は、ドアを少し開いた状態で行ってください。

図L



図M

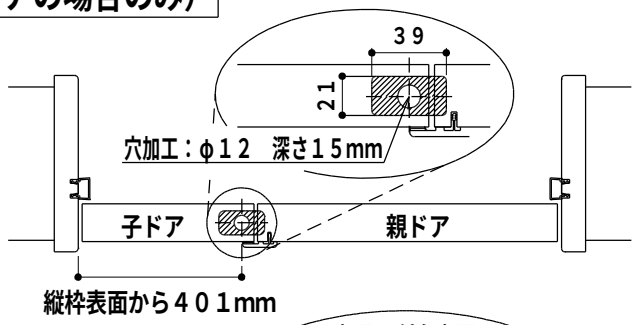


4－10．フランス落し受けプレートの取り付け（親子ドアの場合のみ）

①ドア本体を閉めた状態で、子ドアのフランス落しのツマミを上下させて、受けプレートを取り付ける位置を決めます。

②位置決めした印を中心に、上枠と床の２ヶ所に直径約１２㎜深さ約１５㎜の穴をあけてください。

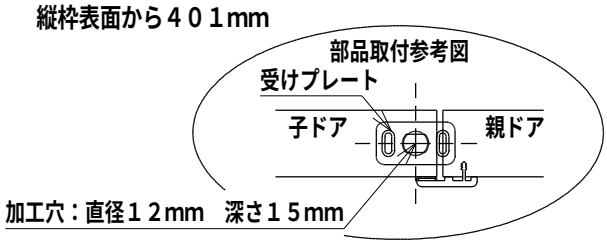
③穴を覆うように受けプレートを取り付けてください。必要であれば受けプレート厚み分の掘り込み加工も施してください。



・位置については下図を参考にしてください。

・アルミ製の床付平型見切りを使用する場合は、鉄鋼用のドリルで取り付け穴をあけてください。また、受けプレートを取り付けるためのビスの下穴もあけてください。

・フランス落し受けプレートは子ドア本体に同梱されています。

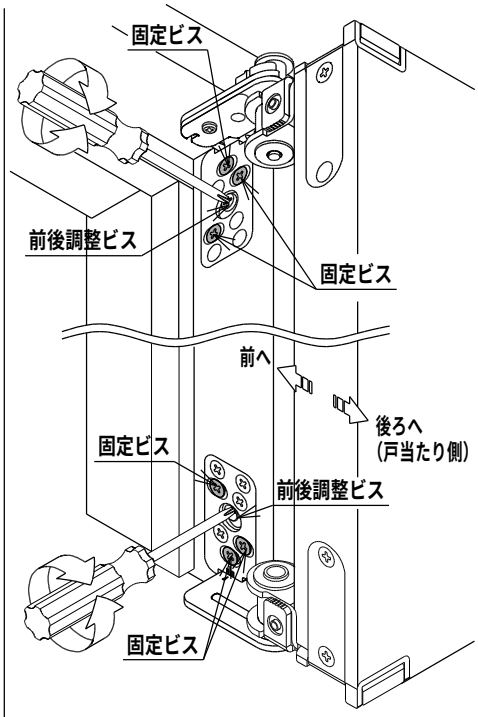


5．施工終了後の調整方法

建て付けの調整は手動式プラスドライバーを用いて行います。

お願い　電動ドライバーは絶対に使用しないでください。

①ドア本体を前後に調整



（1）枠側蝶番の固定ビスを緩めてください。

（2）枠側蝶番の前後調整ビスを回してドア本体を前後に移動させてください。

※左右どちらに回しても動きます。

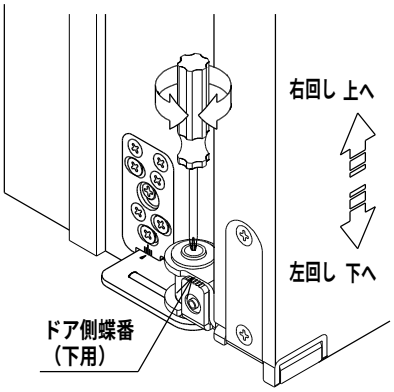
調整範囲（出荷基準位置から）
後ろ（戸当たり側）へ：2mm
前へ：2mm

（3）固定ビスをしっかりと締めて固定してください。

固定ビスはしっかり締めてください。
締め付けが弱いと蝶番がずれて故障の原因となります。

お願い　ドア本体のデザインによっては蝶番が動きにくい場合があります。その場合はドア本体を調整する方向に押しながら動かしてください。

②ドア本体を上下に調整

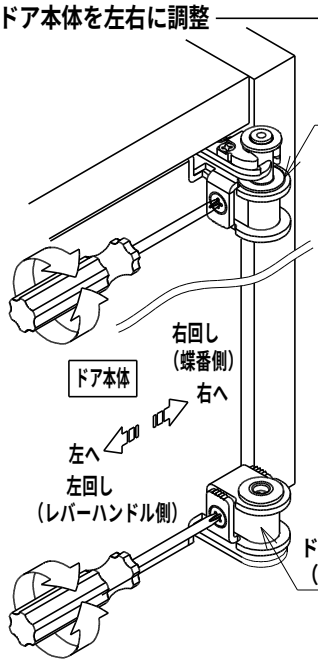


・ドア側蝶番の上下調整ビスで調整します。
右回し：ドア本体が上へ移動
左回し：ドア本体が下へ移動

調整範囲（出荷基準位置から）
上へ：2mm
下へ：2mm

※上下調整は、ドア側蝶番（下用）のみとなります。

③ドア本体を左右に調整

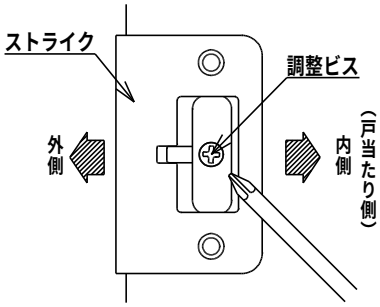


・ドア側蝶番の左右調整ビスで調整します。

右回し：ドア本体が蝶番側へ移動
左回し：ドア本体が
　　レバーハンドル側へ移動

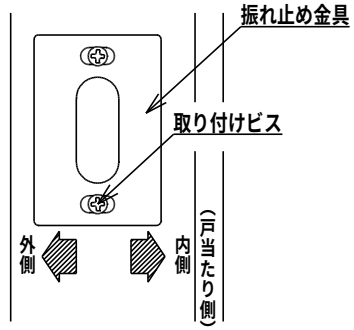
調整範囲（出荷基準位置から）
右（蝶番側）へ：2mm
左（レバーハンドル側）へ：2mm

④ストライクによる調整



・調整ビスを回し調整します。
右に回した場合：ストライクが内側
　　（戸当たり側）に移動。
左に回した場合：ストライクが外側に移動。
ラッチがストライクの中で
　　ガタつく場合：右に回す。
ラッチがかからない場合　：左に回す。
調整範囲（出荷基準位置から）
内側（戸当たり側）に2㎜（親子ドアは2．5㎜）
外側に4㎜（親子ドアは2㎜）

⑤振れ止め金具による調整
（ハイドア・グランドハイトの場合）



ドアを開閉した際、ドア本体が振れる場合、取り付けビスを緩めて左右に振れ止め金具を動かして調整してください。

調整範囲：内側（戸当たり側）に2mm
　　外側に2mm

6．養生・お手入れ方法

6－1．養生

・当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等で養生してください。

6－2．お手入れ方法

・ドア本体が汚れている場合は、水を含ませた雑巾を固く絞り、拭き取ってください。
　金属はやわらかい布で乾拭きしてください。
・採光部の樹脂板が汚れている場合は、やわらかい布で乾拭きしてください。
　汚れが酷い場合は、薄めた中性洗剤（1％以下）を柔らかい布に付け軽く拭いてください。

・酸性、アルカリ性の洗剤、溶剤（シンナー・ベンジン）などは絶対に使用しないでください。
　シートのフクレ・シワやシミ・艶ムラ、塗装・メッキのはがれやサビ等の原因となります。
・採光部の樹脂板には溶剤を含むもの（ガラスクリーナー・殺虫剤・塗料など）は絶対に使用しないでください。
　艶ムラやキズ・変形・クラックの原因となります。

7．ご使用上のご注意

・開閉にあたっては、ドア本体どうしのすき間や枠のすき間に手を置かないでください。
　指を挟んでケガの恐れがあります。特にお子様にはご注意ください。

・暖房器具などから発生する熱風、熱気が直接当たらないようにしてください。ドア本体の反り、変色、火災などの原因になります。
・ドア本体に粘着テープでポスターなど貼らないでください。表面が傷む恐れがあります。
・ドア本体に水、油、殺虫剤などが付着しないようにしてください。材質の特性により表面が膨れたり、シミ、変色などが発生する恐れがあります。
・使用中に異常を感じられたり不具合が生じたときは、取り付け部分などの確認をしてください。ご自身で対処できない場合には施工店にご相談ください。

・ドア本体や金具（レバーハンドルや蝶番）にぶら下がったり、寄りかかったりしないでください。
　転倒やドア本体の落下・破損の原因となり、ケガをする恐れがあります。

取り付け・修理・補修部品などのご相談は、販売会社・管理会社もしくはお求めの工務店・販売店へお問い合わせください。

永大産業株式会社
http://www.eidai.com
内装システム事業部

お客様相談センター
0120－685－110
受付時間 平日 9:00~18:00 土曜日 9:00~18:00
休業日 日曜日、祝日、夏期休暇、年末年始
E-mail:cs@eidai-sangyo.co.jp

S861Ie1901nkEP 第3版